



こころにスマイル 未来創造パーク

11月1日は計量記念日

エンペラーペンギンの赤ちゃん公開体重測定を実施します！



11月1日(日)の計量記念日にちなみ、アドベンチャーワールド(和歌山県白浜町)は、エンペラーペンギンの赤ちゃん(10月2日生まれ)の公開体重測定を行います。親鳥の体の重みで赤ちゃんがつぶされてしまわないよう、ある程度体が大きく成長するまで人の手で育てる「初期人工育雛」を行っていましたが、目標体重の500gに達したため、10月19日(月)親鳥のもとへ返しました。現在赤ちゃんは親鳥のもとで元気に過ごしており、スタッフが自然育雛の成功に向けて親子をサポートしています。生後約1か月を迎え、どれくらい成長しているのかを測定いたします。

【公開体重測定について】

報道関係者の皆様を対象にエンペラーペンギンの赤ちゃんの公開体重測定を実施します。

■日時：2020年11月1日(日)午前9時30分～(開園前に実施いたします)

■場所：海獣館2階

※公式YouTube・Instagramでもライブ配信を予定しております

(動物の体調等により変更する場合がございます)

【エンペラーペンギンの赤ちゃんについて】

- 孵化日 : 2020年10月2日(金)
- 産卵日 : 2020年7月30日(木)
- 孵化日数 : 65日間 ※平均68日間
- 出生時体重 : 300g
- 性別 : 不明
- 親情報 : 父親 1997年11月16日搬入(22歳)
母親 1997年11月16日搬入(22歳)



親子で過ごす様子



【国内2園館でエンペラーペンギンを飼育 未来の繁殖に向けて】

現在、日本国内でエンペラーペンギンを飼育しているのはアドベンチャーワールドと愛知県の名古屋港水族館の2園館のみです。当パークではこれまで誕生した14羽の赤ちゃん（今回の赤ちゃんも含む）はすべて同じ両親から生まれており、血統問題が深刻化しています。未来の繁殖のため2009年より、2園館でブリーディングローンを開始しました。

2019年の3月には10年ぶりにブリーディングローンとして1羽ずつ血統交換を行い、今年、名古屋港水族館からやってきた個体とアドベンチャーワールドで暮らしていた個体の間に産卵を確認しました。今回は無精卵で誕生には至りませんでしたが、この経験を活かし有精卵に繋がるように取り組んでまいります。

※ブリーディングローンとは

希少な動物を絶やさず増やしていくために、動物園や水族館同士で動物を貸したり借りたりする制度のことです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【エンペラーペンギンについて】

- 分類：ペンギン目 ペンギン科 ■生息地：南極大陸およびその周辺
- 学名：*Aptenodytes forsteri* ■英名：Emperor Penguin
- 食生：魚類、イカ、オキアミなど。

アドベンチャーワールドでは主にオオナゴ、ホッケなどを与えております。

- 繁殖：南極大陸で繁殖するのは、中型のアデリーペンギンと並んでエンペラーペンギンの2種類だけですが、アデリーの繁殖シーズンが、雪溶け後に岩場が露出する夏場なのに対して、エンペラーペンギンはマイナス60度にも至る冬の氷原で繁殖を始め、約120日間にも及ぶ絶食の中ヒナを育てることから「世界で最も過酷な子育てをする鳥」だと呼ばれています。およそ5歳で性成熟に達します。メスは産卵後、餌を取りに海へ行き、繁殖地に残ったオスは絶食状態で約2か月間卵を抱き続けます。

- 寿命：約30年

- 特徴：世界最大のペンギンで体長約120cm、体重約40kgに達し、側頭部と胸部上部の鮮やかな黄色が特徴的です。唯一赤ちゃんに模様があるペンギンでもあり、生まれた直後から換羽を迎えるまで、白・黒・グレーの三色をしています。成鳥はキングペンギンとよく似ていますが、キングペンギンは体長約90cmと、エンペラーペンギンと比べると小型で、胸部上部が橙色をしていることから区別できます。



【「こころにいつもSmileを～！コウペンちゃんコラボキャンペーン」】

大人気キャラクター「コウペンちゃん」とコラボし、パークで暮らす8種類のペンギンに変身したコウペンちゃんのマスコットぬいぐるみを2020年10月24日(土)より発売します。同時に「こころにいつもSmileを～！コウペンちゃんコラボキャンペーン」を2020年10月24日(土)～2021年1月31日(日)まで開催し、限定デザインの年間パスポートやパーク内にフォトスポットが登場します。

特設サイトURL：http://grayparkaservice.com/koupenchan_aws/

